

つどい

第10号

発行日：令和5年5月

こんにちは！野木町交流センター「野木ホフマン館」です。
今回の「つどい第10号」でお届けするのは、概ね次のとおりです。

- 野木ホフマン館の近況と事業
- 野木町煉瓦窯のおはなしその⑩
- 自然豊かな渡良瀬遊水地その⑨

【野木ホフマン館の近況と事業】

全国の新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は、現在、減少傾向が継続していますが、今後も感染状況を注視しながら、野木ホフマン館の事業を展開していきたいと思えます。本年度は「煉瓦窯春フェスタ」を実施いたします。多種多様な催しを企画し、楽しんでいただけるイベントにしたいと考えています。また、煉瓦窯・野木ホフマン館に聳(そび)えるメタセコイアも新緑が鮮やかになり、来館者の撮影スポットになっています。バラ・紫陽花等も来月には見ごろを迎えます。ご来館お待ちしております。



煉瓦窯とメタセコイア並木



押し花で干支うさぎちゃん作り

【令和5年度各種講座・教室】

各種講座・教室等については、従来実施してきました講座等の他に新たな事業を計画していますので、お申し込みをお待ちしています。詳細は、町広報紙をご覧ください。なお、ご希望の講座・教室等が定員に達している場合にはご了承ください。

- ◆コンテナづくり・・・古い板を再利用しコンテナを作り、植物を育てます。
- ◆陶芸教室・・・食器や花器などを自由に制作しながら陶芸の基礎を学びます。
- ◆歴史体験講座・・・野木町に関わる歴史などのお話や体験講座を行います。
- ◆渡良瀬遊水地に関する講座・・・植物観察会、野鳥観察会、釣り講座

※他にも多様な講座を計画していますので当該町広報紙「野木ホフマン館」コーナーをご覧ください。

野木町煉瓦窯のおはなし その⑩

日本では大正時代半ばに煉瓦産業が最盛期を迎えました。しかし、大正12(1923)年に起きた関東大震災以後、日本国内における煉瓦の需要は大きく減っていきます。

関東大震災で煉瓦造の建物が壊れたことから、「煉瓦は地震に弱い」というイメージがありますが、煉瓦造の耐震性については当時の建築関係者の間で意見が分かれました。なかには、「壊れた煉瓦造の建物は手抜き工事で建てたものだ」、「鉄骨を使ったり、適切な設計と施工をした煉瓦造建築は地震にも十分に耐えられている」とする意見もありました。しかしながら、煉瓦造の建物が壊れている様子を多くの人々が目にしたことや、関東大震災の前から鉄筋コンクリート造が普及しつつあったことなどから、建物に煉瓦を使うことは減っていききました。

大正12年ごろの野木町煉瓦窯と日本 ●…野木町煉瓦窯、□…日本の出来事

大正12(1923)年

- 旧帝国ホテル完成
- 関東大震災
- ホフマン窯西窯が倒壊、東窯(現・野木町煉瓦窯)の煙突が破損
- 凌雲閣(浅草十二階)取壊し
- 震災恐慌

大正13(1924)年

- 第2次護憲運動
- 阪神甲子園球場完成

大正14(1925)年

- 普通選挙法・治安維持法公布
- ラジオ放送開始
- 普通煉瓦規格公布
- 東京大学地震研究所設立

下野煉瓦では、2基あったホフマン式輪窯のうち1基(西窯)が倒壊し、もう1基(東窯、現・野木町煉瓦窯)は煙突が途中から折れてしまいました。当時の下野新聞にその記事が載っています(『下野新聞』大正12年9月3日)。西窯はその後取り壊しましたが、東窯は折れた煙突を修復して、昭和46(1971)年まで煉瓦を焼き続けました。

平成23(2011)年~26(2014)年におこなった保存修理工事の際に、東窯の煙突の断片が窯の中から見つかりました。この断片は現在、野木ホフマン館の敷地内で見ることができます。



上の写真は関東大震災以前の大正時代に撮影されたと思われる下野煉瓦の工場の様子です。4本ある煙突は左から、素地製造場、ホフマン窯西窯、ホフマン窯東窯(現・野木町煉瓦窯)、登り窯。

自然豊かな渡良瀬遊水地 その⑨

渡良瀬遊水地の治水 ～3つの調節池～

渡良瀬遊水地には、3つの調節池があります。調節池は、洪水を貯め込み、下流に流れる水の量を減らし、河道（川）の負担を軽減します。

【洪水貯水実績】	貯水量（百万m ³ ）
昭和47年（1972）9月台風20号	2.4
昭和57年（1982）8月台風10号	18.1
昭和57年（1982）9月台風18号	33.4
平成3年（1991）8月台風12号	6.6
平成10年（1998）8月前線	8.5
平成10年（1998）9月台風5号	63.3
平成11年（1999）8月熱帯低気圧	3.0
平成13年（2001）8月台風11号	2.1
平成13年（2001）9月台風15号	81.2
平成14年（2002）7月台風6号	78.3
平成19年（2007）9月台風9号	53.7
平成23年（2011）9月台風15号	49.4
平成27年（2015）9月関東・東北豪雨(台風17・18号)	107.3
平成29年（2017）10月台風21号	55.3
令和元年（2019）令和元年東日本台風	164.4 ← 既往最高貯水量



昭和45年度に第1調節池、昭和47年度に第2調節池、平成9年度に第3調節池が供用を開始しました。令和5年3月現在までに15回の洪水貯水実績があります。

参考文献

「渡良瀬遊水地」より
利根川上流河川事務所発行

渡良瀬遊水地の近況

渡良瀬遊水地の春の風物詩「ヨシ焼き」は、3月4日（土）に天候に恵まれ、多くの見物者の中、行われました。

ヨシ焼き後の渡良瀬遊水地の大地は太陽の日差しをたっぷり受け、日に日に育つヨシや春にだけしか見られない絶滅危惧種の「トネハナヤスリ」「ノウルシ」や多くの貴重種が見られます。渡良瀬遊水地の豊かな自然を見に行きませんか。

野木町交流センター

（野木ホフマン館）

開館日：火曜日～日曜日

9：00～18：00

（月曜日が国民の祝日の場合は開館、翌平日閉館）

〒329-0114

野木町大字野木3324-10

☎ 0280-33-6667